

**Samba 4を導入し、ICカードのみでWindowsログオン
OpenAMとの連携でWebアプリに自動ログイン
ID／パスワード不要のシングルサインオン環境を実現
国立大学法人 一橋大学 様 事例紹介**



OSSTech

**オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社
代表取締役 チーフアーキテクト 小田切 耕司**

お問い合わせ info@osstech.co.jp

オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社

「オープンソースソフトウェア」の新しい価値を創造し、高機能・高品質を追求する

統合認証

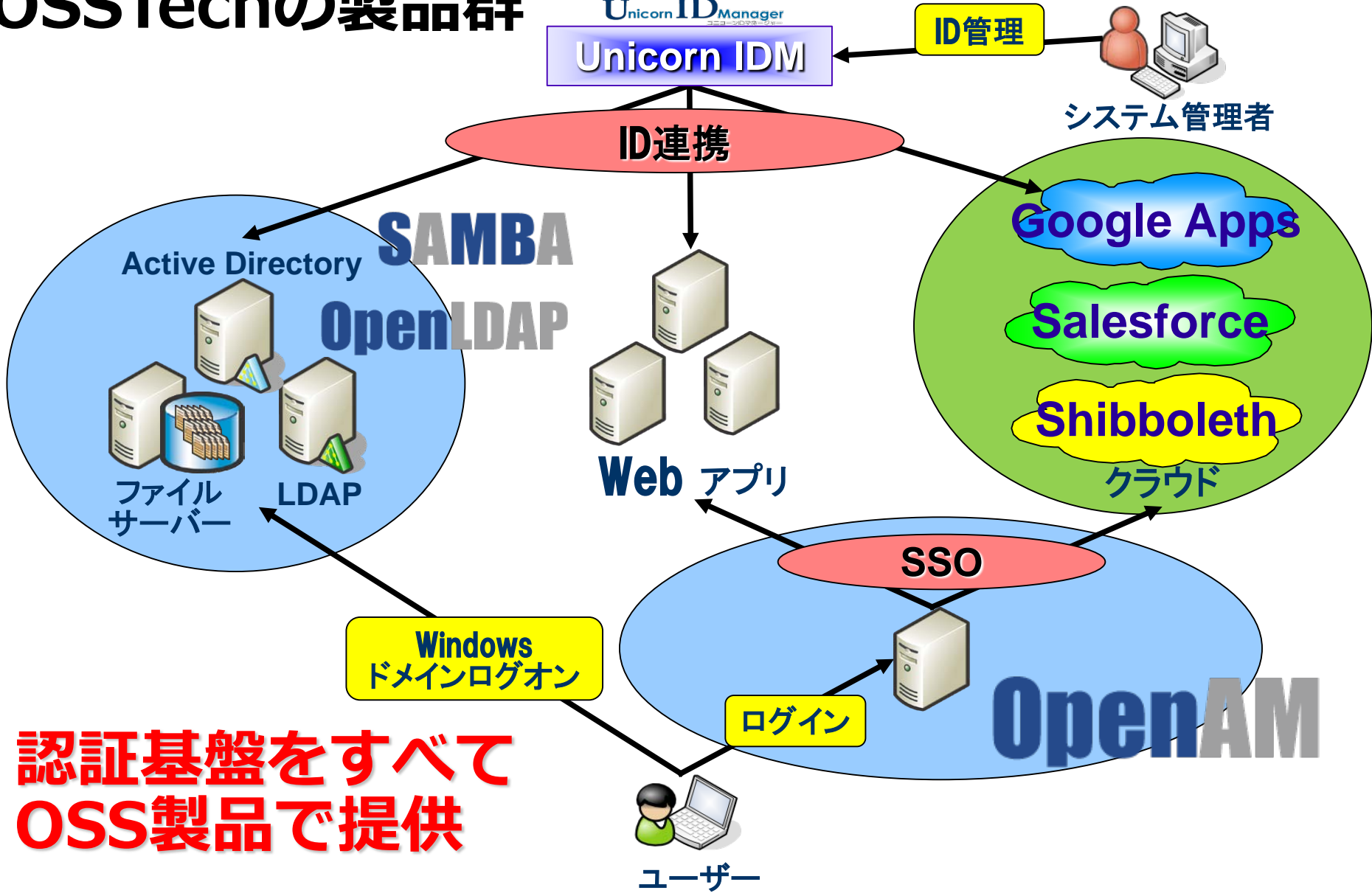
シングルサインオン

アイデンティティ管理ソリューション

- **OSに依存しないOSSのソリューションを中心に提供**
Linuxだけでなく、AIX, Solaris, Windowsなども対応！
- **OpenAM, OpenLDAP, Sambaによる認証統合/
シングル・サイン・オン、ID管理ソリューションを提供**
 - 製品パッケージ提供
機能証明、定価証明が発行可能
 - 製品サポート提供
5年以上の長期サポート
コミュニティでサポートが終わった製品のサポート
 - OSSの改良、機能追加、バグ修正などコンサルティング提供



OSSTechの製品群



認証基盤をすべて
OSS製品で提供

OSSTechの製品群（すべてOSSで提供）

Linux/AIX/Solaris版すべてRPMで提供

OpenAM

OpenLDAP

SAMBA



●OpenAM

- Tomcat, OpenLDAP対応で高機能なシングルサインオン製品

●OpenLDAP

- 認証統合、ディレクトリサービス、シングルサインオンのインフラ

●Samba

- Active Directoryの代替、高性能NAS(CIFSサーバー)の代替

●Unicorn ID Manager

- Google Apps, Active Directory, LDAP, Sambaに対応した統合ID管理製品

●ThothLink

- WebブラウザからのWindowsファイルサーバアクセス機能を提供

国立大学法人 一橋大学 様

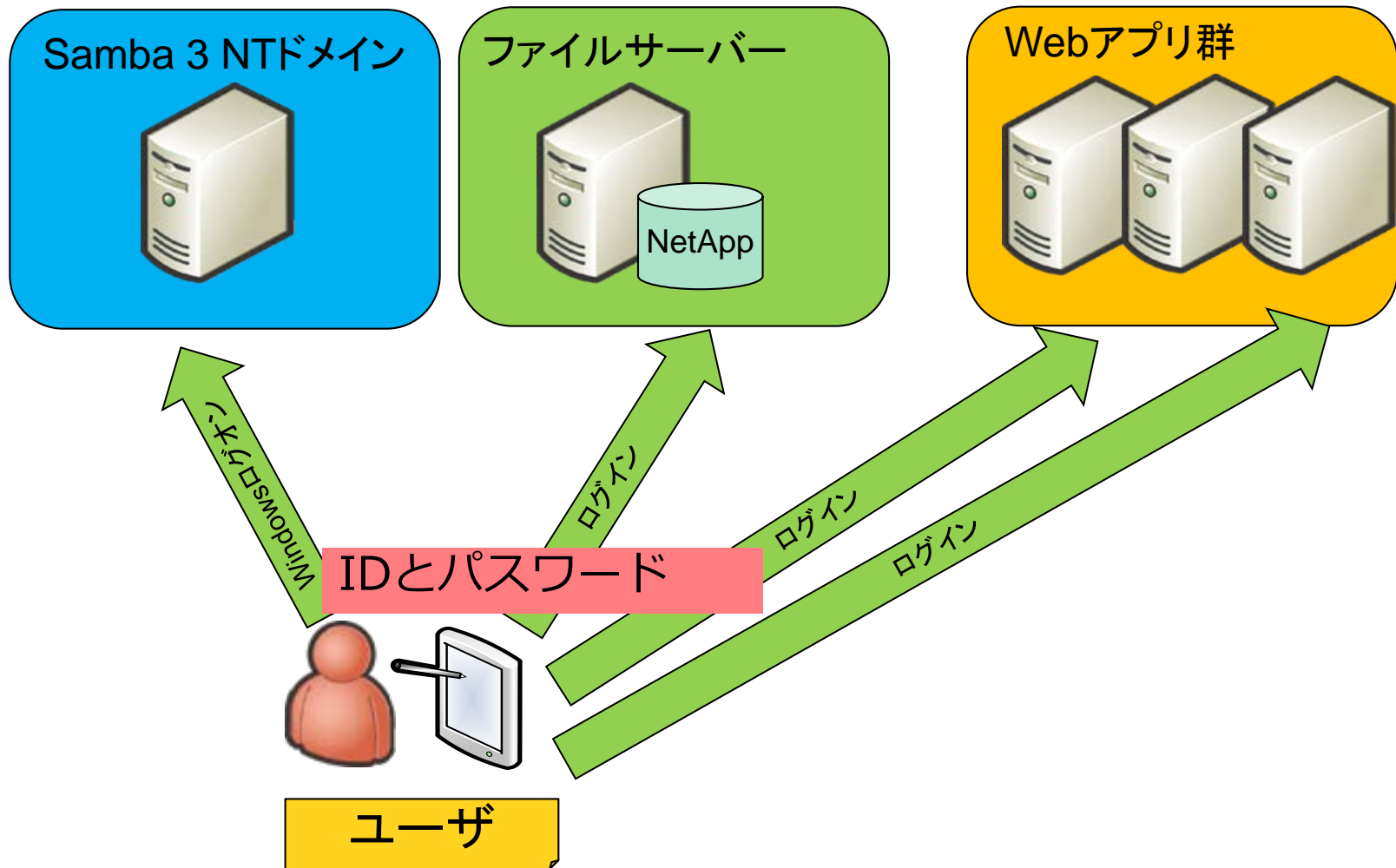
◆ 課題

学内向け情報サービスを充実させていくなかで
より利便性の高い認証環境を構築したい

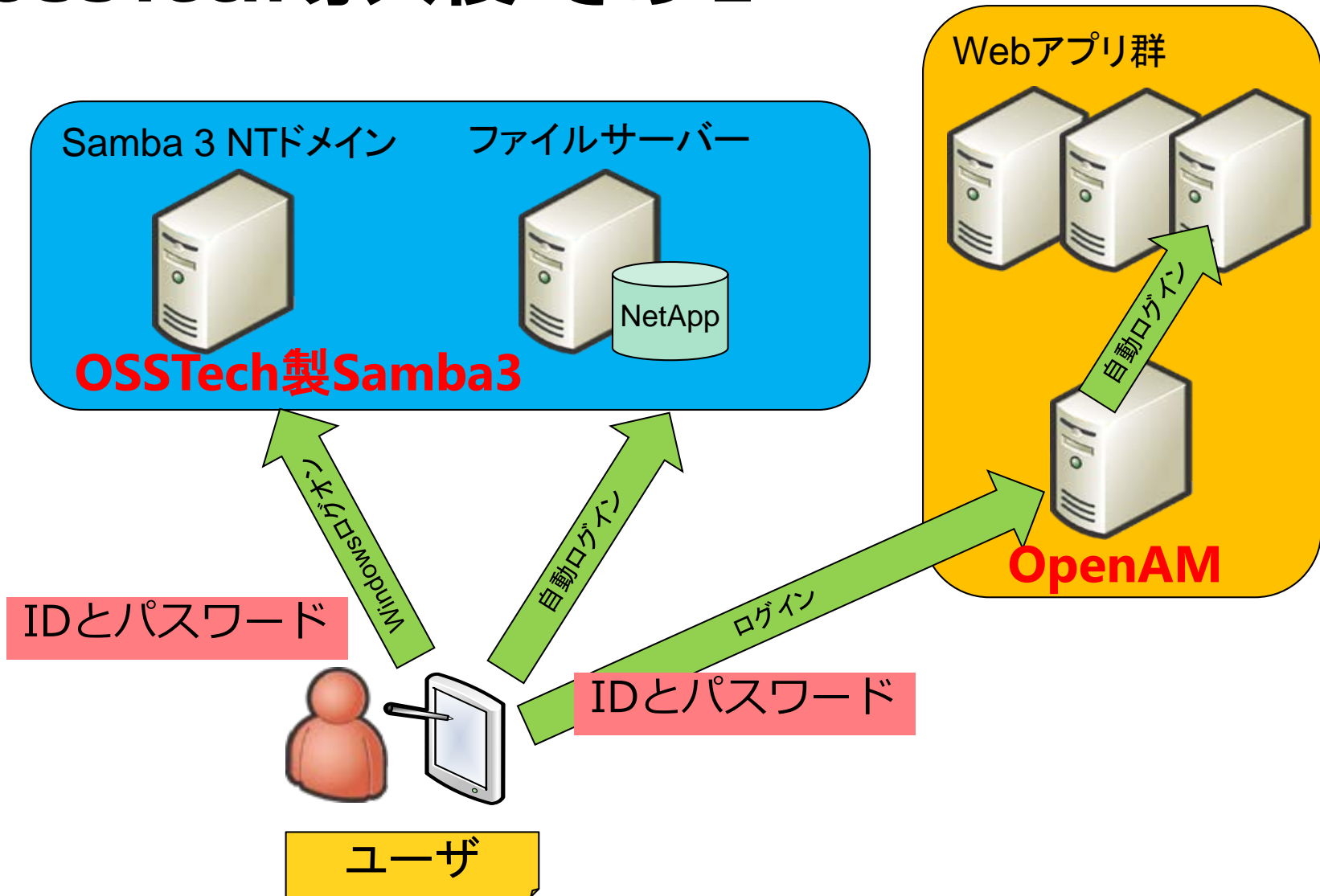
◆ 解決

オープンソースのSamba 4とOpenAMを導入し
ICカード認証を使った、ID／パスワード不要の
シングルサインオンを実現

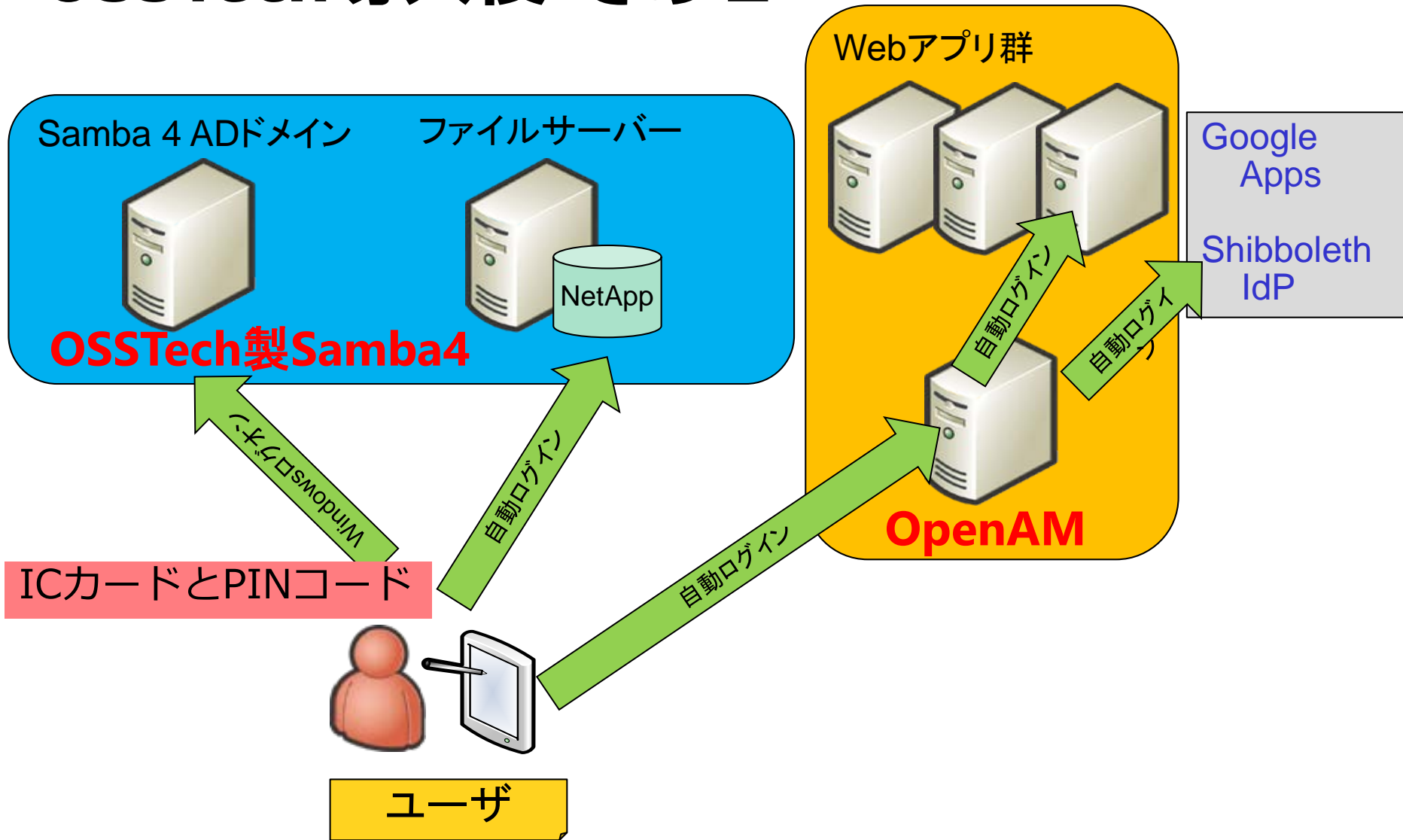
Before OSSTech



OSSTech導入後 その1



OSSTech導入後 その2

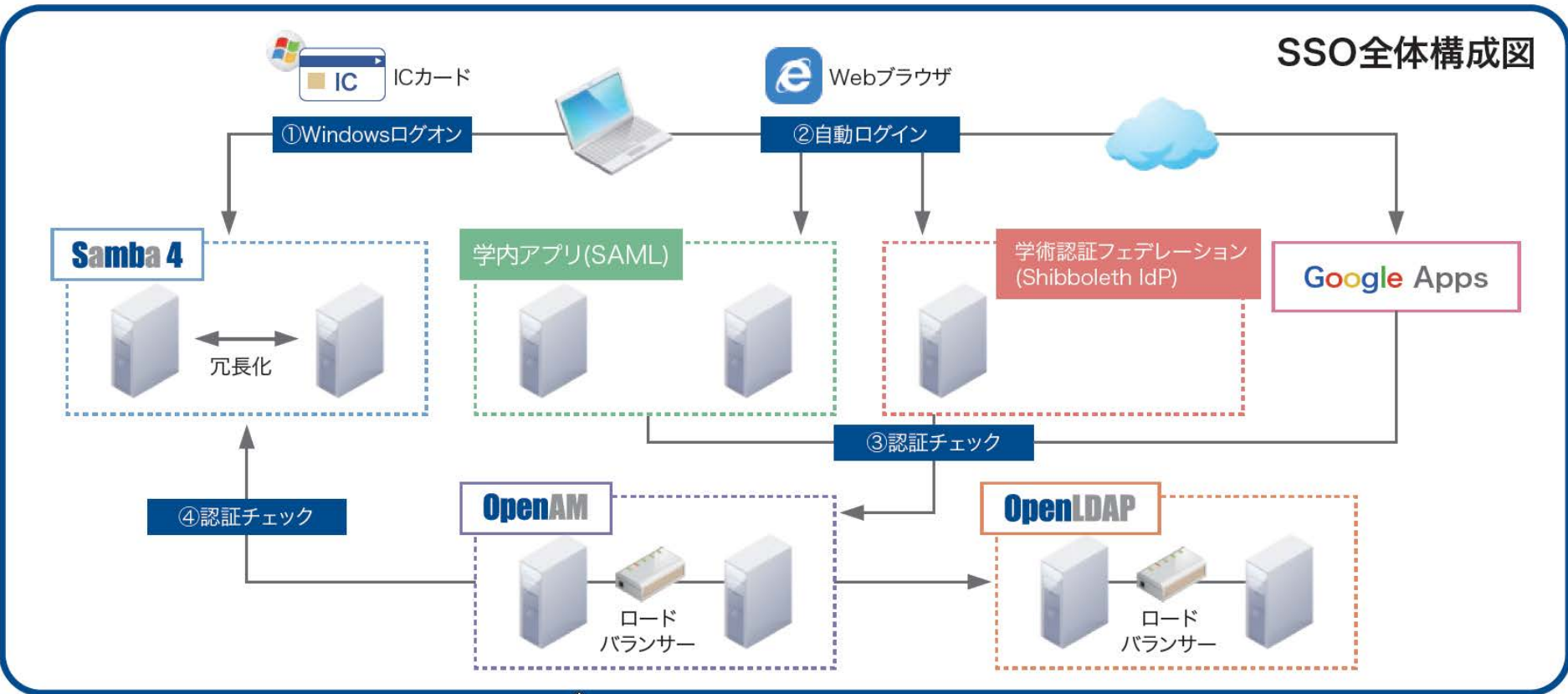


OSSTech導入後 その2

導入事例: 一橋大学様

認証基盤製品「Samba 4」「OpenAM」「OpenLDAP」導入事例

SSO全体構成図



Samba 4とは？

Active Directory互換

- Linuxサーバー上でActive Directoryサーバーを動作させることが可能
- 管理はWindowsクライアントのGUI（RSAT：リモートサーバー管理ツール）で行えるので操作を新しく覚える必要がない
- CAL(Client Access License)が不要
- ADとしてのみ利用する場合はアンチウィルスソフト購入不要
- AmazonのCloud DirectoryはSamba 4

OpenAM連携：（Kerberos認証による）DesktopSSOが可能

- Windowsログインのみでブラウザのログインを不要に

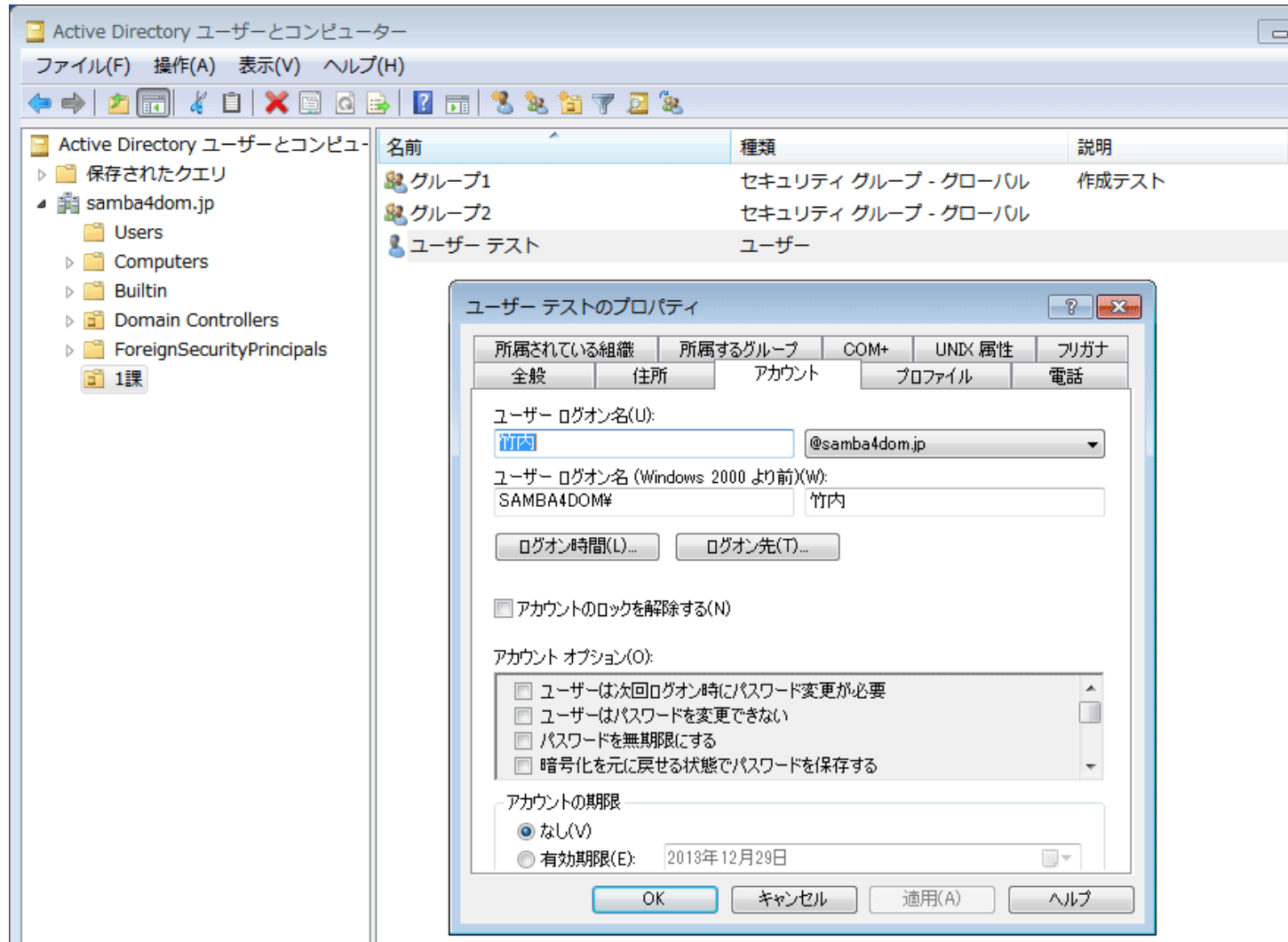
LDAPv3準拠

- TLSによる暗号化通信（Idaps接続が可能）
- UNICODE対応、スキーマの拡張やアクセス制御機能

OpenLDAPやOracle(旧SunJava)Directory ServerなどのLDAPも置換可能

- 初期導入がコマンド1つで可能（TOPツリーのLDIF投入不要）
- マルチマスター対応で、冗長化もコマンドひとつで可能
- 管理はWindows GUIのRSATで可能
- 構築や運用がOpenLDAPより簡単

Samba 4はWindowsクライアントのGUI (RSAT : リモートサーバー管理ツール) で簡単操作



Samba3と4の違い

機能	Samba 3	Samba 4
ファイルサーバ機能	Samba3.6からSMB2対応	SMB2,SMB3(Windows8)対応
	NASとしての実績が現時点では多い	サーバーサイドコピーなどに対応 CTDBによるクラスター機能対応
ドメインコントローラ機能	NTドメイン互換	Active Directory(Win2008R2)互換
	NTLMv2認証	Kerberos認証 (Kerberosサーバー内蔵)
	システムポリシー	グループポリシー
	冗長化には外部のLDAPが必要	LDAPを内蔵しているためSambaのみで冗長化が可能
Windows GUIによる管理機能	Windows2000のUSRMGR Windows 7,8,10で動作しない	RSAT対応 Windows 7,8,10で動作可能
名前解決機能	NTドメイン互換なのでWINSサーバーが必要	ADドメイン互換なのでDNSによる名前解決が必要
	SambaがWINSサーバー機能を持つ	WINSサーバーは不要 SambaがDNSサーバー機能を内蔵
	DNSでSamba3 DCを見つけることはできない	DNSがないとSamba4 DCを見つけられない

参考資料：日経BP Samba 4による Windowsネットワーク 構築

<http://itpro.nikkeibp.co.jp/article/COLUMN/20131018/511929/>



OSSTech製OpenAMはここが違う！

最先端のシングルサインオン基盤に必要な機能・特長を自社開発し、安定した運用を支援します

OSSTechがリリースする日本版OpenAMの特長

OpenLDAPの親和性向上	要望の多いパスワードポリシー対応とLDAP更新時のタイムラグに対処し、OpenLDAPとの組み合わせを実運用レベルへ
マトリックス型認証モジュール	2次認証としてニーズの高いマトリックス型認証サーバとの連携モジュールを追加開発
代理認証モジュール	アプリケーション改修が不要となるSSO連携モジュールを開発し、ラインナップに追加
nginxポリシーエージェント	新鋭の高速Webサーバーnginx用ポリシーエージェントを開発、サポート
Shibboleth連携	学術系で採用の多いShibbolethとの共存、ハイブリッドSSO化が可能
RPMパッケージ	rpmコマンドだけでインストール、アップデートが可能なパッケージ構成を採用
バグ修正	安定度を優先し版数はコミュニティ版に追随せず、セキュリティ・運用に関わる修正を優先的にバックポートまたは自社開発
カスタマイズ後のサポート	案件向け独自改修を行った場合でも、開発元ならではの確実なサポートを提供可能

経験と実績のOSSTech製SSOソリューション

国内随一の技術力を持つOpenAM開発者が、日本市場でのOpenAM利用を完全バックアップ

安心・安定の製品品質

自社で独自に機能強化、検証を実施したOpenAM製品パッケージ



OSSTech製
OpenAMパッケージ

OpenAM
開発者

OpenAM
導入支援

OpenAM
サポート

柔軟なソリューション

長年の豊富な導入実績と経験に基づくシングルサインオンシステム構成を提案
独自モジュール開発や独自カスタマイズも考慮する柔軟な対応

万全の開発体制とサポート

OpenAM開発者およびオープンソースソフトウェアに関する知識や経験が豊富なメンバーがソースコードの隅々まで解析、確かな技術力で正確かつ迅速なサポートサービスを提供
オープンソースソフトウェアの利点を生かし、OpenAMコミュニティに依存しない長期保守体制も確立



OSSTech

「オープンソースソフトウェア」の新しい価値を創造し、高機能・高品質を追求する

統合認証

シングルサインオン

アイデンティティ管理ソリューション

OpenAMはオープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社の日本での登録商標です。(登録 第5398965号)